

伊高だより 10月号



*** 明朗 創造 努力 ***

令和3年10月25日(月) 岩手県立伊保内高等学校
(0195)42-3121(事務室) 42-3122(職員室) ホームページ <http://www2.iwate-ed.jp/ibn-h/>

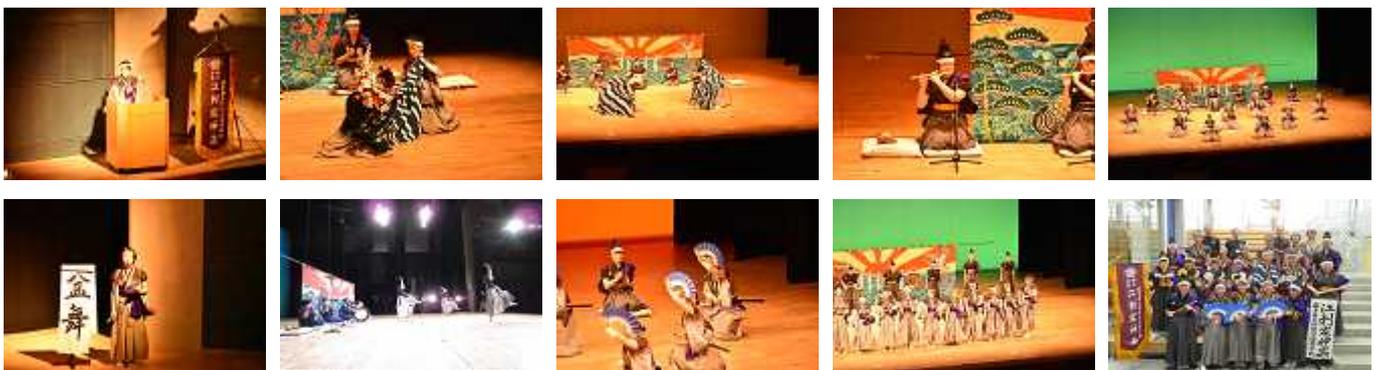
「伊高祭」発表会 10月9日(土)実施

今年の伊高祭も新型コロナウイルス感染予防対策のため、同居家族5名と人数を制限しての規模縮小開催となりました。新校舎完成により、見学いただきながら楽しんでいただきました。前日から、会場を生徒達が一生懸命飾り付け、雰囲気盛り上げました。発表については、1年生が体育で取り組んだ郷土芸能「神楽」、読み聞かせ、学校行事・部活動スライド上映、九戸村作成のプロモーションビデオの紹介、吹奏楽部のふれあいコンサート、2・3年生の企画発表、郷土芸能委員会発表など工夫を凝らした内容でした。



第44回岩手県総合文化祭郷土芸能発表会 10月16日

- 1 日時 令和3年10月15日(金)～16日(土)
- 2 会場 北上市文化交流センター(さくらホール)
- 3 内容 第44回岩手県高等学校総合文化祭郷土芸能発表会が、北上市文化交流センター(さくらホール)で開催されました。この大会は、2022年度全国総文祭予選大会となっています。県内から16校が出場しました。本校の郷土芸能委員会は、4番目の発表で結果は、3位相当の優秀賞(2席)で、全国大会まであと一歩でした。郷土芸能委員会の皆さん、関係者の皆様お疲れ様でした。



※ 権現舞、つぎぎ舞、盆舞、切り舞の四演目で構成しました。

「伊高むらおこし会社」開発商品「まさざね館」で販売 10月17日

9月号でも掲載しましたが、九戸村が設立した「伊高むらおこし会社」を通じて、オドデ館の商品を爆発的に売れる商品に生まれ変わらせようという目的で4月から総合的な探究の時間を活用してプロジェクトを進めてきました。専門家、地域おこし隊の方々との協力を得て、8種類の商品を企画し、販売することになりましたが、コロナ禍で県の緊急事態宣言が継続中ということもあり、残念ながら生徒達による販売はできていませんでした。しかし、今回緊急事態宣言も解除されたことから、「まさざね館」で販売いたしました。皆様のご協力で、完売することができました。ありがとうございました。



大学見学会

令和3年10月18日(月)自らの進路選択の幅を広げることを目的として、岩手大学と岩手県立大学の見学会が開催されました。対象は1学年15名、2学年B類10名の計25名が参加しました。

<参加生徒感想から>

- ・岩手大学の見学を通して、自分の将来に向けて進路情報を沢山得ることができました。
- ・初めて大学を見学しました。学生生活は高校生と違い自己管理が今以上に大切である事が分かった。
- ・県立大学看護学部を見学し、看護とは様々な場所、対象に対して提供されていることを知った。
- ・「法学の世界」の講義を受け、法学に興味を持ちました。自分が積極的に学ぶことが大切だと感じた。



フードデザイン特別講座

令和3年10月19日(火)3年A類家庭科フードデザインの授業(14名)において、九戸村役場フードプランナー高橋香織さんを講師にお招きし「地元の食材を使ったお弁当づくり」をテーマにフードデザイン特別講座が開催されました。この講座は、地域の食材を使った調理を通して、地元食材に理解を深め、家庭生活や社会生活に生かす能力や態度を育てることを目的としています。生徒達は、戸惑いながらも一生懸命取り組んでいました。



※ 食材は、鶏肉、マイタケ、パプリカ、さつまいもなどを使用